

コミュニティー スクールだより

4

尾道市立向東小学校 平成 28 年度 1 2 月 1 6 日
発行者 C S 担当 川原 悦子 浅岡 亜美

ふるさとの味を大切に

二学期、4年生は、「総合的な学習の時間」では、「食について考えよう」という単元活動を行いました。

まず始めは、「自分の食をみつめなおそう」と、給食の献立から、赤の食品(たんぱく質)、黄の食品(糖質・脂質)の食品、緑の食品(無機質・ビタミン)に分類していき、好き嫌いなく食べることの大切さについて調べ学習をしました。後半では、「ふるさとの味を大切にしよう～」ということで、今年も、女性会の方々に、JA調理室で、栗きんとんの作り方とお抹茶をいただく作法について、ご指導していただきました。大変お世話になりました。

お抹茶をいただくのも、栗きんとん作りも初めてという児童が、ほとんどでした。大満足の日を過ごすことができました。【児童の感想】の一部分を紹介します。



今日は、郷土料理教室を開いてくださりありがとうございます。

一番心に残ったことは、きんとんの材料を混ぜ合わせたことです。なかなか生地を持ち上げられなくて、「手早くまぜないと、底が焦げてしまうよ。」と教えてくださったことが、嬉しかったです。

また、難しかったのは、栗をみじん切りにすることでした。小さなものを細かく切る」のは、初めてだったけれど、班のみんなで協力してできたので、よかったです。

お抹茶やきんとんの置き方を今回初めて学びました。お抹茶を置くときに碗を回すことが楽しかったです。そして、碗の支え方や置き方が難しかったです。また、きんとんをラップで包み、つまむ方法にびっくりしました。・・・

今日は、郷土料理を開いてくださり、ありがとうございます。私は、栗きんとん以外のお菓子ならほとんど作ったことはあったけれど、栗きんとんを作ったことはなかったから、楽しかったし、おいしかったです。それと、お抹茶をたてて、正面から運んでいくことや食べる人は、お抹茶碗を左に、二、三回回して飲むということなどを学びました。

おばあちゃんの家泊まった時、郷土料理のことを話すと「また今度、作って食べよう。」とおばあちゃんが、言ってくれました。

私も妹やおばあちゃんに栗きんとんを作って、たべさせてあげたいです。

栗きんとん

お抹茶

歴史探検：地域を知る

12月14日には、5年生が地域探検を行いました。雨の中の探検となりましたが、地域の伝説や歴史に詳しい方々の話を聞くことができました。初めて聞くことばかりで、興味深く話を聞いていました。地域の事を再認識できる時間になりました。

5年生がお礼の手紙を書いた一部をご紹介します。



私は、向東にこんなにも昔ながらの場所があるなんて、初めて知りました。いつも過ごしている場所なのに、知らないことがたくさんあって、新しい発見がたくさんできました。

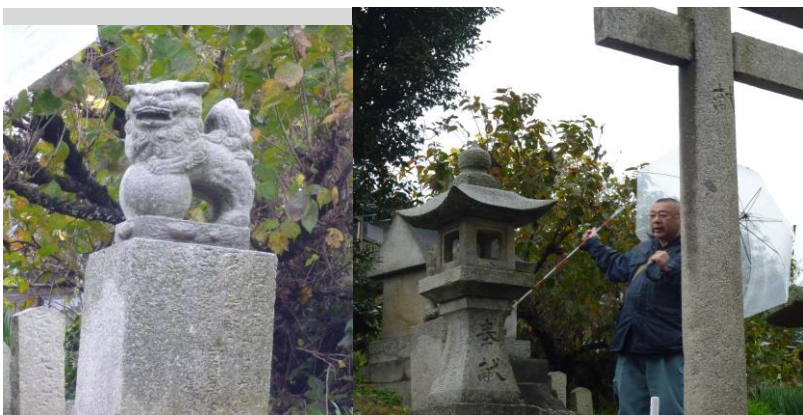
特に驚いたことは、昔の女の人が病気になると「西金寺」に訪れていた事や、昔の女の人が、頭がよかったという事です。女性が詠んだ短歌が、宮島の倉庫にあると聞いてびっくりしました。向東には、悲しい伝説も残っていることも知りました。有名な人も立ち寄り、私の宝は、昔の人が残した歴史的な建物すべてです。

皆様が教えてくださったおかげで、神社の歴史やいろいろな文化を知ることができました。

ぼくは、向東は一つの島だと思っていましたが、昔は、七つの島だったとは知りませんでした。もっと昔は、二十以上の島だったと聞いて、びっくりしました。「塩田」というのも知りませんでした。塩田は、塩を作る所で、中世から、江戸時代にかけては、税金として使われていたようです。...

追求意欲を高める

新たな価値



【お知らせ】

☆あひる文庫さんの表彰☆

33年間という多年にわたる、読書推進運動に尽力をされたことが、表彰されました。

